

2020年11月24日
一般財団法人日本規格協会

産業標準案作成対象テーマの審議について

日本産業規格（JIS）の制定、改正又は廃止のための産業標準案（以下、JIS案という。）の作成に着手するに当たっては、当会認定産業標準作成機関 JIS案作成規程に基づき、当該 JIS案作成対象テーマが適切であることについて、主務大臣による事前調査、及び JSA 事務局による“JIS案の作成開始要件”を満たすことの事前確認を経て、産業標準作成委員会にお諮りすることとなっております。

つきましては、別添 1 の JIS案作成対象テーマについて、改正する理由（必要性）及び期待効果、JIS案の作成開始要件への適合状況、作成開始予定などを記載しておりますので、JIS案の作成に着手してよろしいかご審議をお願いいたします。また、産業標準作成委員会の下に JIS素案の調査審議及び作成を行うための WG を設置することについても併せてご審議をお願いいたします。

なお、字句等編集上の修正については、産業標準作成委員会事務局に一任いただきますようお願いいたします。また、ご承認いただいた JIS案作成対象テーマは、利害関係者に公表するために JIS作成予定一覧表として JSA ホームページに掲載いたします。

産業標準案作成対象テーマ一覧(改正)

2020年11月24日
一般財団法人日本規格協会

認定機関	産業標準作成委員会	制定/改正/廃止	規格番号	JIS案の名称	JIS案の英文名称	改正する理由(必要性)	期待効果	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止 JIS	対応する国際規格番号及び名称	対応する国際規格との対応の程度	選定基準1 (JIS法第2条の産業標準化の対象)	選定基準2 (JIS法第1条の法律の目的)	選定基準3 (産業標準化の利点・欠点)	選定基準4 (国が主体的に取り組む分野の判断基準)	選定基準5 (市場適合性に関する判断基準)	JIS素案作成委員会 (WG)	作成開始予定
JSA	02 計測計量	改正	B7556	気体用流量計の校正及び器差試験	Calibration and proving test for gas flowmeter	<p>【制定・改正する理由(必要性)】</p> <p>この規格は、気体用流量計に対して計量トレーサビリティのとれた校正値及びその不確かさを求めるための校正方法、並びに気体用流量計の器差を求めるための試験方法について規定したものである。</p> <p>この規格では、校正値の算出には、湿空気及び乾燥空気の密度の値を求めることが必要となっているが、気体(空気)の密度値を求めるに当たって、湿空気の状態方程式を用いて温度、気圧及び湿度の測定値から算出する密度式(CIPM-2007)が国際度量衡委員会(CIPM)において定められ、近年、当該密度式の評価が確立し普及していることから、この密度式を導入することが求められている。</p> <p>また、被試験流量計(校正の対象)の一つである絞り流量計は、標準流量計として用いることを、この規格では除外していたが、校正値に必要な差圧測定をより簡便に行うことが可能で、かつ、精度も向上することから標準流量計として追加することを求められているが、近年、標準流量計として用いるために必要な校正値の算出における係数が確立してきたことから、この求めに応じることが可能となっている。</p> <p>こうしたことから、最近の国内外の技術・市場の実態に即し、気体密度の計算方法を見直すとともに、標準流量計への絞り流量計を追加するなど、当該JISを改正する必要がある。</p>	<p>【期待効果】</p> <p>この改正によって、校正に使用する湿空気の密度がより正確に算出できるようになり、気体用流量計の校正の信頼性が向上する。また、絞り流量計を標準流量計に追加することで、絞り流量計を対象とした校正がより簡便、かつ、高精度で行えるようになり、ユーザの利便性の確保及び国内市場の拡大に寄与することが期待できる。</p>	<p>主な改正点は、次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気体の密度の計算方法(5.2)において、CIPM-2007を導入する。 ・標準流量計校正方法及び校正値の不確かさの計算(5.4)の表1(標準流量計と被試験流量計の組合せ及び校正値)において、標準流量計として絞り流量計を追加するとともに、絞り流量計に係る校正値の算出に関する箇条を追加する。 		なし	—	<p>第2条の該当号：第4号(試験方法、測定方法)</p> <p>対象事項：気体用流量計</p>	<p>法律の目的に適合している。</p>	<p>利点： ア、ウ、エ、オ</p> <p>欠点： いずれも該当しない。</p>	<p>1. 基礎的・基盤的な分野</p>	—	<p>一般社団法人日本計量機器工業連合会のWG</p>	2021年1月